

## 比較 &lt;ページ1&gt;

( ^▽^ ) < まず、「比較」とは？ → ものごとを「比べる」ことですね。

- ・ユキは私よりかわいい。
- ・ケイコはユキと同じくらいかわいい。
- ・グリーン先生はケイコと私よりかわいい。
- ・ホワイト先生はこの学校でいちばんかわいい。

さて問題です。

いちばん背が高いのは誰でしょう(答え:それは不明(-\_-;))

それはともかく。

ものごとを「比べる」文を書く時には、例えば「かわいい」「背が高い」のような

**形容詞・副詞**がよく使われます。

「形容詞 dictionary」「副詞 dictionary」をぜひ活用して、まずはどんな単語が形容詞や副詞なのかざっとつかんでおいてね( . . )φ

★「ざっとつかんだよ～」という人！ 今度はいろいろな形容詞や副詞の「変化」を見てみましょう。

たとえば動詞だと、原形・過去形・過去分詞・ing 形、というふうに変化することを

皆さんすでにご存じだと思いますが、

形容詞・副詞は、**原級－比較級－最上級** というふうに変化します。

原級 (もともとの形)	比較級 (原級に er を付ける)	最上級 (原級に the と est を付ける)
big	bigger	the biggest
busy	busier	the busiest
cold	colder	the coldest
easy	easier	the easiest
fast	faster	the fastest
hard	harder	the hardest
hot	hotter	the hottest
large	larger	the largest
long	longer	the longest
old	older	the oldest
pretty	prettier	the prettiest
tall	taller	the tallest
warm	warmer	the warmest
young	younger	the youngest
early	earlier	the earliest
...	...	...

※形容詞・副詞はもっとたくさんあるよ！ 形容詞 dictionary、副詞 dictionary ぜひ見てみてね♪

ピンク

ブルー

グリーン

と、色が付いているところがありますが、

どんな仲間で色分けされているのか、それぞれ考えてみよう！

ヒント：原級(もともとの形)を比較級・最上級にする時に、気をつけなければいけない点が…？

## 比較 &lt;ページ2&gt;

そう！

例) big, hot	bigger, hotter と文字を繰り返して er や est を付ける！
例) busy, easy, pretty, early	busier, easier, など y を i に変えて er や est を付ける！
例) large	larger のように r だけ、st だけを付ける！ (largeer, largeest とならないでね)

それぞれの注意点に気をつけて、比較級や最上級を作ってね(^o^)/

次は、こんな表を見てみましょう。

原級 (もともとの形)	比較級	最上級
difficult	more difficult	the most difficult
interesting	more interesting	the most interesting
useful	more useful	the most useful
beautiful	more beautiful	the most beautiful
popular	more popular	the most popular
...	...	...

…おや？ 比較級・最上級の作り方が、先ほどまでと違いますね。

er や est を単語の後ろにくっつけるのではなく、**more** や (the) **most** という新たな単語をそれぞれの形容詞・副詞の**前に**置く、という作り方になっています。

なんでこうなるの～？&gt;(^▽^)

先ほどまでの形容詞・副詞と比べてみましょうか。

《先ほどまでの形容詞・副詞》big easy cold hot tall early pretty などなど。

《more や the most を前に置く形容詞・副詞》difficult interesting useful など(もっとうあります)

実際にペンを持ってノートなどに書いてみるとわかるかもしれませんが…( . . )φ

more や the most を前に置く形容詞・副詞は、「**長い単語**」なのです！(←長くしてみた)

長い、つまり、「文字数が多い」んです。

difficult とか interesting とか beautiful とか、スペルを覚えるのが大変ですよ。長いから。

そんな「長い単語」に er や est を付けてさらに長くするようなことはせずに、

more、(the) most、という別の単語を使って比較級や最上級を作るんだ！と覚えておくとよいかも。

★さて、ここで疑問が浮かんだ人もいるかもしれません。

(・▽・) &lt;「長い」って、何文字だったら長いの？ と。

↑

あなた、なかなか鋭いですね！

・pretty(er, est を付ける)

・useful(more, (the) most を前に置く)

この2つなんて文字数は同じですからね！なのに、片方は「短い」扱い、もう片方は「長い」扱い。

( ≧▽≦ ) &lt;どないやねーん！ どうなってるねーん！！

あなたにはこの謎、解けますか？

## 《 長い形容詞・副詞 と 短い形容詞・副詞 の区別 》

一般的には単語を「音節(おんせつ)」で区切り、「3音節以上は“長い”」と区別しますが、「イチから(初級)」の教材を学習中の皆さんは、このように覚えておくとよいと思います。



母音(a, i, u, e, o)が3つ以上含まれている語は、「長い」!

difficult(3つ)、interesting(4つ)、useful(3つ)、beautiful(5つ)、popular(3つ) …  
すべて「長い」語です。

ちなみに pretty は母音1つだけ! 「短い」扱いなのも納得! よくできてる~o(≧▽≦)o

ただし、例外もあります。

たとえば slowly(スロウリー)という副詞 … 母音は1つだけですが、「長い」語です。

(-▽-) <何事にも例外はつきもの。「例外ね♪よっしゃ♪」と(?)記憶に刻んでおきましょう☆

さてもう1つ、こんな表も。

原級 (もともとの形)	比較級	最上級
good	better	the best
well	better	the best
many	more	the most
much	more	the most
...	...	...

これらの形容詞・副詞は、比較級や最上級を作る時に、

er や est を付けたり、more や the most を前に置いたりしない、「特別な」語です。

ということは、このまま丸ごと覚えるしかない!

「イチから(初級)」学習中の皆さんは、特に、good と well についてはよく覚えておいてね( ^^)φ

【ミニ練習問題】 次の形容詞・副詞の意味、比較級、最上級をそれぞれ書け。

	意味	比較級	最上級
young	( )	( )	( )
hot	( )	( )	( )
large	( )	( )	( )
interesting	( )	( )	( )
easy	( )	( )	( )
big	( )	( )	( )
well	( )	( )	( )
useful	( )	( )	( )
good	( )	( )	( )
famous	( )	( )	( )
early	( )	( )	( )

★ここからは、形容詞・副詞の原級、比較級、最上級、それぞれの使い方を見ていきましょう。

## ① 原級

●いわゆる普通の文の時。

Yuki is pretty. ユキはかわいい。 Nana is young. ナナは若い。

This book is new. この本は新しい。 This picture is beautiful. この絵は美しい。

Takuya plays the guitar well. タクヤは上手にギターを弾く。

別に他の何とも比べていない、「普通の文」です。

こういう文の時は、形容詞・副詞は原級の形で使いますね。

● as ... as ~ 「~と同じくらい...」という表現の時。

この表現を用いた文では、形容詞・副詞は必ず原級で使われます。

Yuki is as pretty as I. ユキは私と同じくらいかわいい。

Nana is as young as he. ナナは彼と同じくらい若い。

This book is as new as mine. この本は私の(本)と同じくらい新しい。

This picture is as beautiful as that one. この絵(写真)はあの絵(写真)と同じくらい美しい。

Takuya plays the guitar as well as you. タクヤはあなたと同じくらい上手にギターを弾く。

この表現に not や don't (doesn't, didn't)が入って否定文になることもあるよ。

not as ... as ~ 「~ほど...ではない」という表現も一緒に覚えておこう(^o^)/

★次の英文をそれぞれ和訳してみてね。

Yuki is not as pretty as I. ( )

Nana is not as young as he. ( )

This book is not as new as mine. ( )

This picture is not as beautiful as that one. ( )

Takuya doesn't play the guitar as well as you. ( )

## ② 比較級

● 「~より...だ」という表現の時。

「~より」は **than** (ザン) という語で表します。

文の中に than が使われていたら、形容詞・副詞は**必ず比較級!**

Yuki is prettier than I. ユキは私よりかわいい。 Nana is younger than he. ナナは彼より若い。

This book is newer than mine. この本は私の(本)より新しい。

This picture is more beautiful than that one. この絵(写真)はあの絵(写真)より美しい。

Takuya plays the guitar better than any other boy. タクヤは他のどの少年より上手にギターを弾く。

● 「(〇〇と□□で)どちらが...ですか?」という表現の時。

Who is younger, Yuki or Takuya? ユキとタクヤではどちらが若いですか?

Which is more difficult, this book or that one? この本とあの本ではどちらが難しいですか?

Which do you like better, dogs or cats? あなたは犬と猫ではどちらが好きですか?

## 比較 &lt;ページ5&gt;

☆つまり、形容詞・副詞を比較級の形で用いるのは、「何か2つのものを比べる時」なのです！

例文では、ユキは私より...とか、犬と猫のどちらが...とか、「2つのもの(人)」を比べているよね。

こういう時、形容詞・副詞は比較級になるよ！ これポイントね(≧▽≦)!



※例外は、Takuya plays the guitar better than any other boy. (タクヤは他のどの少年より上手にギターを弾く。) こういう文の時。

これは、タクヤ君と誰か(1人だけ)を比べているわけではなく、他の何人かと比べているよね。

でも、**than** を使う表現だから、形容詞・副詞は比較級になるのだ！

「比較級+than any other ○○」、これは熟語としてこのまま丸ごと覚えちゃったほうがいいかも( . . )φ

## ③ 最上級

● 「(○○の中で)いちばん...だ」という表現の時。

Yuki is the prettiest in the class. ユキはクラスでいちばんかわいい。

Nana is the youngest in her family. ナナは彼女の家族の中でいちばん若い。

This book is the newest. この本はいちばん新しい。

This picture is the most beautiful of all. この絵(写真)は全て(の絵・写真)の中でいちばん美しい。

Takuya plays the guitar the best of the three. タクヤは3人の中でいちばん上手にギターを弾く。

I like music the best. 私は音楽がいちばん好きだ。

◇◇ ここからは原級・比較級・最上級の文についての耳より情報2連発！ ◇◇

This picture is as beautiful as that **one**. この絵(写真)はあの絵(写真)と同じくらい美しい。

This picture is more beautiful than that **one**. この絵(写真)はあの絵(写真)より美しい。

この one、気になった人はいませんか？ ↑

This picture is as beautiful as that **picture**. が正しいんじゃないの？ one っていったい何？と。

(^▽^)<これはね…

英語の文は、This **picture** is ...that **picture**. のように、1つの文の中に同じ単語が繰り返し出てくるのは、あまり良くないとされているのです。

で、そういう時、2回目の単語(名詞)の代わりに使われるのが、この one という語。

「1」「1つ」という意味ではなく、「前に出てきた単語(名詞)の代わり」なのです。

だから、和訳する時には、「絵(写真)」とか、「本」「男の人」「車」など、もともとの単語(名詞)の意味で訳すと、自然な和訳になるよ(^o^) 英作文をする時にも、この one のことを思い出してみてね♪

Nana is the youngest **in** her family. ナナは彼女の家族**の中で**いちばん若い。

Takuya plays the guitar the best **of** the three. タクヤは3人**の中で**いちばん上手にギターを弾く。

(・▽・)<同じ「~の中で」という意味で、in と of の2種類の語が使われているね。

◆ in the (または my, his, her など) class / in the (同じく) family / in the world など、主に「場所、グループ、範囲」を表す場合は、**in** を用いる。

◆ of the three 「3人(個、冊、などなど)の中で」のように「数」が出てくる場合や、of all / of all people のように **all** という語が出てくる場合は、**of** を用いる。

… このように使い分けてね。慣れるためには練習、練習！ 頑張ろうφ(^o^)